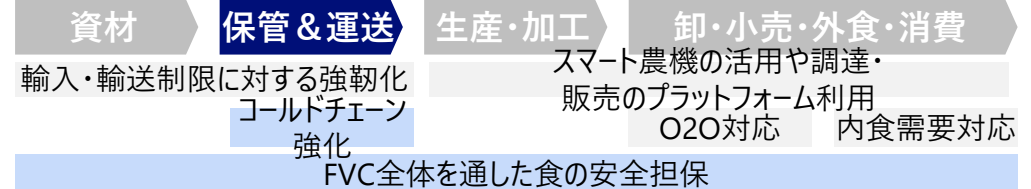


昨今の緊急的な需要増への対応には、プレハブやコンテナ利用等の簡易型の仕組みも考慮

プレハブ・コンテナ等の簡易型倉庫

体質改善



技術概要

- 小型から大型まで、あらゆる条件に最適なシステムを提供
- パナソニックの冷却技術をフルに活用した周辺機器を組み合わせることが可能



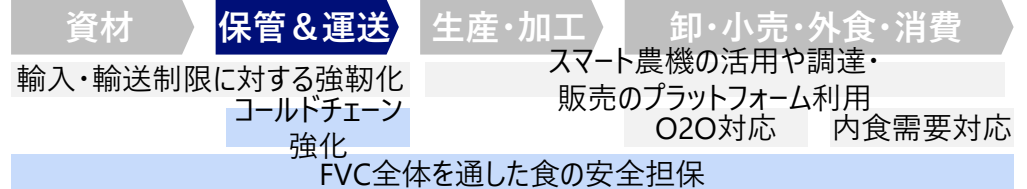
6. 日本が貢献できる領域仮説 6.2 具体的なソリューション例

輸送時や工場内での温度維持管理技術で産地・消費地をつなぐ一貫した食品のビジネスモデルを構築

産地・消費地をつなぐコールドチェーン



体質改善

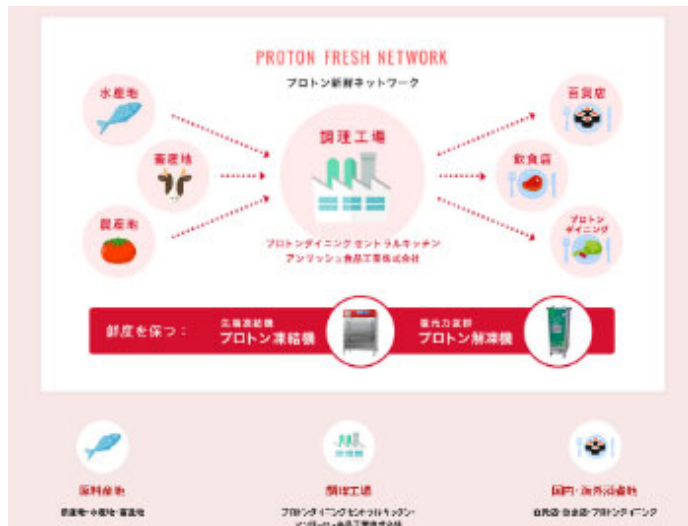


輸送段階の低温維持

- ・ 冷蔵倉庫用冷凍機の提供
- ・ 低温かつ空気組成制御が可能なCAコンテナ

調理工場での廃棄ロス低減

- ・ 凍結機、解凍機を調理工場に提供
- ・ 鮮度の高い産地加工品を安定的価格で提供可能に



6. 日本が貢献できる領域仮説 6.2 具体的なソリューション例

食品と家電が連携し、家庭で簡単に本格的な味が楽しめるサービスを提供

IoT家電＋ミールキット

ボタンを押すだけでつくれる、
プレミアム料理キット



ホットクックで
らくらく調理♪



SHARP

家電メーカー



食品メーカー



グルメ情報サイト



ヘルシオのボタンを押すだけで
つくれる料理キット宅配サービス

体質改善 肉体改造

資材

保管＆運送

生産・加工

卸・小売・外食・消費

輸入・輸送制限に対する強靱化

コールドチェーン強化

スマート農機の活用や調達・

販売のプラットフォーム利用

O2O対応

内食需要対応

FVC全体を通じた食の安全担保

手軽に調理可能なミールキットの開発・宅配

- ヘルシオ（調理器具）の利用者向けに、ネットで料理キットを注文、自宅を受け取り簡単に調理できるサービスを展開
- ぐるなびとの連携で、人気の高い日本料理屋やフランス料理店のシェフなどが監修したメニューを開発
- 食材の調達や加工は食品メーカーのタイハイが担当

6. 日本が貢献できる領域仮説 6.2 具体的なソリューション例

健康意識の高まりに対し、健康・未病領域も取り込むことで付加価値を向上

完全栄養食品



BASE PASTA



BASE BREAD



All-in PASTA/NOODLES



REAT

体質改善 肉体改造

資材

保管 & 運送

生産・加工

卸・小売・外食・消費

輸入・輸送制限に対する強靱化
コールドチェーン強化

スマート農機の活用や調達・
販売のプラットフォーム利用
O2O対応

内食需要対応

FVC全体を通じた食の安全担保

全ての栄養素を供給する完全栄養食品

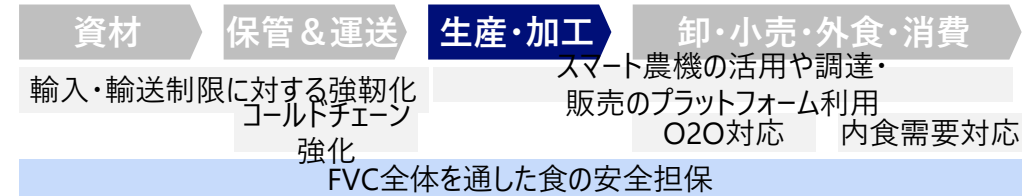
- 食品メーカーが、パッケージフードや加工食品の中でも、日常生活に必要なあらゆる栄養素を含んだ、パッケージフードの開発と提供を行っている

6. 日本が貢献できる領域仮説 6.2 具体的なソリューション例

食品加工において殺菌や異常・異物検知は極めて重要な工程であり、技術が活きる領域

品質・衛生管理高度化/食品加工工場省人化

体質改善 肉体改造

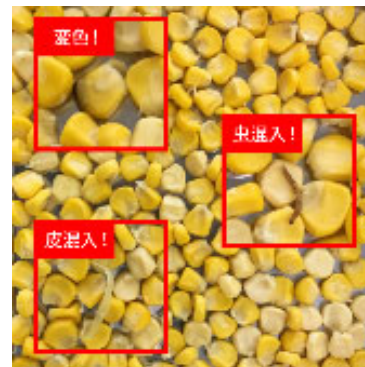
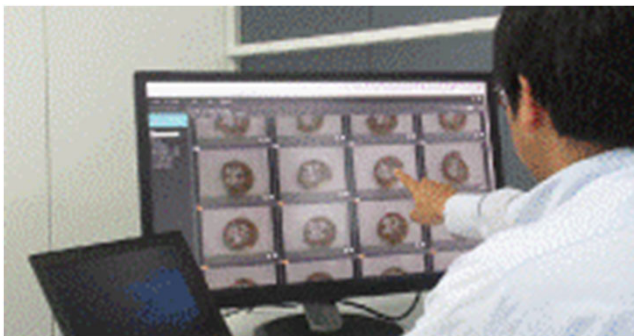


品質を損なわない食品の殺菌・加工

- ・ 超高压（600 MPa 以上）を利用した殺菌
- ・ 熱を使わない殺菌で乳製品、青果加工品などにも利用可

画像認識・AI技術での異常検知

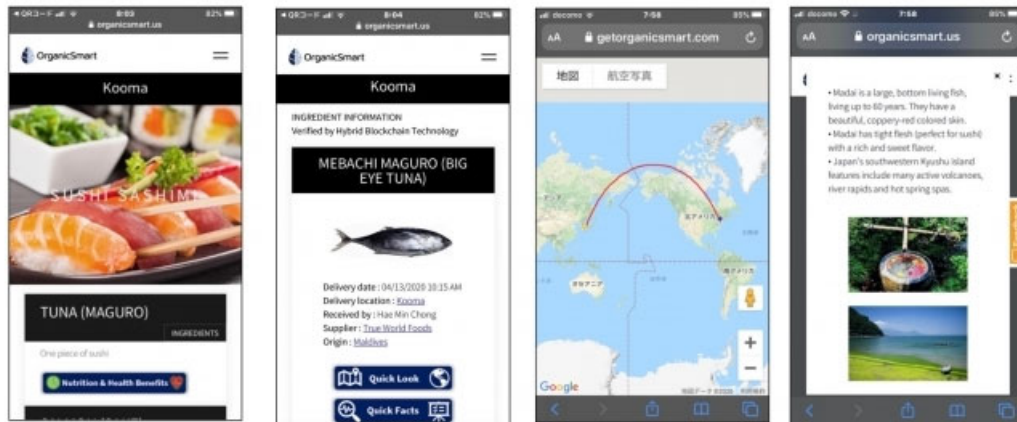
- ・ AIを用いて複雑なパターンも自動判定
- ・ 省人化や検査の効率化・品質平準化が可能に



6. 日本が貢献できる領域仮説 6.2 具体的なソリューション例

ブロックチェーン技術を活用してFVCを通じたデータや情報を消費者に共有するプラットフォーム

トレーサビリティプラットフォーム



体質改善 肉体改造

資材

保管 & 運送

生産・加工

卸・小売・外食・消費

輸入・輸送制限に対する強靱化
コールドチェーン
強化

スマート農機の活用や調達・
販売のプラットフォーム利用
O2O対応 内食需要対応

FVC全体を通じた食の安全担保

ブロックチェーンで検証・承認データの共有

- 食品情報の検証プロセスにより、食の安全性が「見える化」され、消費者は自分が食べるものを評価できるようになる

食品メーカー、小売店、生産者の信頼性向上

- レストラン、小売店、生産者は自社ブランドの信頼性を高め、消費者からの信頼によってリピーターの醸成を通じて収益性を高めることができる

タイ

1. はじめに
2. COVID-19 による食市場・物流への影響と今後の見通し
3. COVID-19により顕在化したFVCの課題
4. 現地FVC 再構築に向けた動向
5. ビジネス機会の方向性仮説
6. 日本が貢献できる領域仮説

7. FVC再構築検討のためのTV会議開催・結果報告

1. TV会議概要
2. 現地企業・日本企業へのアンケート・マッチング結果
8. 事業構想案

タイ

1. はじめに
2. COVID-19 による食市場・物流への影響と今後の見通し
3. COVID-19により顕在化したFVCの課題
4. 現地FVC 再構築に向けた動向
5. ビジネス機会の方向性仮説
6. 日本が貢献できる領域仮説

7. FVC再構築検討のためのTV会議開催・結果報告

1. TV会議概要

2. 現地企業・日本企業へのアンケート・マッチング結果
8. 事業構想案

7. FVC再構築検討のためのTV会議開催・結果報告 7.1 TV会議概要

2021年1月27日に開催されたタイのTV会議の概要は次の通り

目的

- タイ・ベトナムのフードバリューチェーン（FVC）において、COVID-19が引き起こした課題と変化を把握し、現地・日本企業がこれらに対する解決策・ビジネス機会を検討する一助とすること

日時

- 日時：2021年 1 月27日（水） タイ向け： 11：00～12:50（日本時間）

アジェンダ

アジェンダ	概要
開会の挨拶	・ NRIより会議目的、システム機能説明、アジェンダを説明 ・ 農林水産省より開会のご挨拶
NRIからのプレゼンテーション 新型コロナの影響によるタイのFVCの再構築に係る日本企業のビジネスチャンス	・ NRIより下記についてプレゼンテーション; 1. イントロダクション：COVID-19による“ニューノーマル”の創出 2. COVID-19による影響と現状 3. COVID-19による課題と対策 4. ビジネス機会の方向性仮説 シナリオ 5. ビジネス機会の方向性仮説 今後のテーマと日本のソリューション
Q&A	・ 聴衆参加者からの質問に対して、NRIから回答
閉会の挨拶	・ 農林水産省より閉会のご挨拶

7. FVC再構築検討のためのTV会議開催・結果報告 7.1 TV会議概要

タイのTV会議のスピーチ・議論内容は次の通り

1. 開会の挨拶

農林水産省大臣官房審議官
(国際)
松本雅夫氏

- ・ タイは長年にわたり、我が国と友好な関係にあり、農林水産業・食品産業においても重要な国の一つ
- ・ ASEAN諸国の中でも多くの日系企業が進出するなど緊密な関係を維持している国、今後更に両国関係を発展させていくことが重要
- ・ 我が国の食産業が継続的に発展していくためには、国内需要だけでなく海外需要を獲得していくことが必要
- ・ 新型コロナウイルス感染症により顕在化した課題に対処するため、世界的なFVCの再構築が今後行われていくことが予想される中、我が国の技術・ノウハウの導入を推進し食産業の海外展開を維持・拡大していくことが重要
- ・ タイにおける新型コロナウイルス感染症による食市場・物流への影響と今後の見通し、新型コロナウイルス感染症により顕在化したFVCの課題、現地FVC再構築に向けた提案などについて、調査の結果を報告・共有とともに、意見交換の場を設け参加者にとって有益なものとなり、今後の業務や事業展開、新たなビジネス機会の創出、フードバリューチェーンの再構築の一助となることを目指す

2. NRILekチャー

2.1 イントロダクション

- ・ COVID-19がもたらす世界経済への影響。タイでは、2022年に2019年時点まで回復し、成長軌道に戻るには時間を要する予測
- ・ 移動自粛がもたらした行動変容。人々は公共交通機関の利用を避け、自宅周辺で過ごす傾向へ
- ・ COVID-19によって加速する「政策・経済・社会・技術」におけるメガトレンド
- ・ タイでも衛生管理、ワークフロムホーム、新しい参拝などニューノーマルが発生
- ・ FVCにおいても、ニューノーマルに応じて新たな動きの導入が加速していく想定

2.2 COVID-19による影響と現状

COVID19 の状況

- ・ 新規感染者数の減少とともに制限も緩和されてきたが、昨年12月以降から第2波が襲来
- ・ 非常事態宣言は、2021年2月末まで延長。28都県を高度管理地域に指定（レッドゾーン）
- ・ 生産量：砂糖は継続的に減産するが、野菜・果物加工品、ペットフードは需要増で生産拡大見込み。中国にてエタノール原料となるトウモロコシの在庫が減少、タイ産キャッサバの需要が拡大し価格高騰化
- ・ 消費量：外食産業での肉の消費量が継続的に減少、観光客の入国規制緩和による消費回復を期待。世界的な感染者拡大の長期化から、砂糖と医療エタノール価格は2021年も高騰化が続く予測
- ・ 輸入量：シーフードが加工用原材料が枯渇し前年比を下回る。一方で砂糖の減算により輸入量が増加
- ・ 輸出量：シーフードは加工食品需要の増加から輸出量が増加
- ・ 加工食品、冷凍食品、有機食品の生産と消費：衛生管理や安全対策から調理済みの加工食品や冷凍食品の需要が急増。一方で原材料不足や工場の増設など生産量の拡大には一定の制限へ
- ・ 小売・レストランの店舗数・売上：大手チェーンの外国人観光客やビジネス会食利用者向け店舗にて回復の遅れが目立つ結果へ
- ・ 包装食品：安全対策や衛生管理の観点から、包装食品を好む傾向が誕生。パッケージ売りが増加
- ・ 外食サービス：外出規制からフードデリバリーの利用急増。ロックダウンが続く地域ではドライバーが不足
- ・ 消費者マインド：フードデリバリーの利用が広まる。ロックダウン後も人混みを避けるためにフードデリバリーサービスの利用が根強く残る

COVID19における農林水産物への影響（マクロデータからの見解）

7. FVC再構築検討のためのTV会議開催・結果報告 7.1 TV会議概要

タイのTV会議のスピーチ・議論内容は次の通り

2. NRILekチャー 続き

2.2 COVID-19による影響と現状

COVID-19によるFVCへの影響と
顕在課題

- ・ 農業生産：COVID19 の感染拡大を受け、労働者不足から植付け時期を遅らせる農家が多発。また、鶏卵禁輸措置など一時的な輸出入規制により国内外の供給バランスが乱れた。
- ・ 保管 & 運送：貨物が急激に増加。増便するなど各社対応するが、送り出したコンテナの回収に通常以上の時間が掛かり、コンテナと輸送機器不足が深刻化。物流コストが上昇。
- ・ 加工：食品の安全性と保存管理に対する意識高まり、加工食品や缶詰製品などの需要が伸びる。一方で、加工用食品の魚介などの原材料の調達が一時滞り、供給に遅延が生じた
- ・ 卸・小売：外国人旅行客の減少により、小売・外食産業の売上低下。販売形態を、EC、テイクアウト、デリバリー形式へと変化
- ・ 消費：消費者の購買チャネルはオンライン中心に変化。都市部を中心に消費者の食に対する健康志向が高まる

COVID-19における政府・企業・
第3国/国際機関支援策

- ・ COVID-19の危機に対処する農家・サービス・観光産業向け政府による経済刺激策、企業・第3国/国際機関による支援策とその事例

タイにおけるFVC上の顕在課題

- ・ FVC上で発生している課題および発生可能性のある課題（20課題）

2.3 ビジネス機会の方向性仮説

Key Issuesと投資領域

- ・ FVC上で発生している課題および発生可能性のある20の課題から、大きく3つのKey Issuesを想定
 1. 農業生産の生産改革・非常事態耐性強化（課題①－④等）
 2. 消費形態の変化に対応した流通構造の構築（課題⑬、⑰、⑲、⑳等）
 3. 安心・安全確保の必須化（課題⑦、⑧、⑨等）
- ・ タイでは投資領域を「体質改善」と「肉体改造」と把握

2.4 日本企業の技術・ソリューション

投資が進む可能性のあるテーマと
日本が保有する技術・
ソリューション

1. 農業生産の生産改革・非常事態耐性強化
 - ✓ 「輸入・輸送制限に対する強靱化」、「スマート農機の活用や調達・販売のプラットフォーム利用」
→ EDI管理によるデータ入力省人化、道の駅（直販モデル）、流通プラットフォーム、スマート農業
2. 消費形態の変化に対応した流通構造の構築
 - ✓ 「コールドチェーンの強化」、「O2O・DX対応」、「健康食・ミールキットなど新ニーズ対応」
→ EC展開支援ツール、コールドチェーン、IoT家電 + ミールキット、完全栄養食品
3. 安心・安全確保の必須化
 - ✓ 「自店舗・工場のみならず、FVC全体を通じた食の安全性の担保」
→ 品質・衛生管理高度化食品加工工場省人化、トレーサビリティプラットフォーム

2.5 ウェビナー後の進め方

ビジネスマッチングの設定

- ・ 日・タイ両国の事業者、政府機関の皆様向けに、実際の事業展開に関わるビジネスマッチングや事業機会の議論の場の設定

7. FVC再構築検討のためのTV会議開催・結果報告 7.1 TV会議概要

タイのTV会議のスピーチ・議論内容は次の通り

3. Q&A セッション	視聴者からの質問内容	NRIからの回答
肉の輸入量に関する質問 (P.11)	- タイは肉の主要輸出国であるが、肉の輸入量も多いのか教えてください - タイが輸入する肉の種類を教えてください - 肉を加工用原材料と輸入し、再輸出しているのか教えてください	- 掲載データに誤りあり。シーフードがもっとの多い輸入品目 - ウェビナー中にデータを修正し視聴者へ再掲示 - 牛肉（輸入先：オーストラリア、NZ、日本など） - 実績として、ハム、ソーセージ、コンビーフ、冷凍食品などに使用し、米国・欧州、近隣諸国を中心に再輸出している
現地企業、日本企業との協業に関する質問	COVID-19により顕在化した課題がある中で、現地企業と日本企業でどのようなコラボレーションが出来るのか？成功や失敗事例なども併せて教えてください	- コロナ禍から生まれた協業や成功事例などは現段階ではまだ見受けられないが今回紹介した日本の技術・ソリューションは全般に当てはまる - 特に、ハードにおいては「食品のトレーサビリティ、安心安全の技術」、「コールドチェーン周りの技術」などの技術など - また、ソフト面では、ECサイトの立ち上げやその関連ロジであり、日本の技術を使うと言うより、まだ満たされていない領域において新しいアイデアと一緒に発想するイメージである
設備投資に関する質問	COVID-19の状況下における設備投資をするとしたらどの分野か教えてください	「ロジスティクス周りの投資」が加速すると考える - 特に、倉庫、輸送機器、EDIなどの電子化・効率化のロジスティクス分野への投資。特に、農業生産に関しては、産業プレイヤーの多くは資金体力がないため、官民のコラボレーションが重要となる
食品のトレーサビリティ、安全担保に関する質問	- 現地企業で既にトレサビや安全担保に向けたデータビジネスは始めているところはあるのでしょうか。それともまだ時期尚早というイメージでしょうか。 - もし市場が始まっているのであれば、どういうチェーンのプレイヤーが主導権を握っているのでしょうか？財閥系の小売事業者になるなど教えてください	- 食品のトレーサビリティや労働者不足への投資は必須領域である - CPグループなど加工食品にデータバーコードなど進んでいる。しかし、外部向けというよりは自社内でトレーサビリティの担保は行っている程度と考えられ、今後は消費者向けに作っていかなくてはいけない領域。これから進む領域と考える
経済の回復に関する質問	COVID-19の影響で成長のスピードへの影響はあるのか教えてください	COVID-19の影響により経済の成長がマイナス影響を受けたが、消費者のトレンド自体は大きく変わらない。回復を待つのみと考える
食品の価格に関する質問	鶏肉以外にも卵の価格が高騰していることについてその事実に関する情報を教えてください	- パニック買いにより卵の価格が一時高騰。一部州では2～3倍へ。 https://www.bangkokpost.com/thailand/general/1887240/spike-in-egg-prices-raises-gouging-fear
政府の支援策に関する質問	農業生産において必要と考えられる政府の支援策があればご教授願いたい	農家の肉体改造・体質改造となる「スマート農機の活用や調達・販売のプラットフォーム利用」を推進させる支援策など

タイのTV会議のスピーチ・議論内容は次の通り

4. 閉会の挨拶

農林水産省大臣官房国際部
新興地域グループ国際交渉官
(東南アジア担当)
北田裕道氏

- タイの農林水産業・食品産業分野における新型コロナウイルス感染症の状況と影響、それにより顕在化した課題と対応例について、詳細に報告させて頂いた
- ポストコロナにおける今後のシナリオや日本が貢献できる領域について、野村総合研究所から仮説を提示させていただき、その後活発な意見交換を行うことができた
- 一概に本日報告した内容が、タイにおける事業展開やフードバリューチェーンの再構築のために必ずしもそのまま適用できるものではないと思うが、一つの考え方として、有益な情報を提供できたと思う
- 当省としても、引き続きフードバリューチェーンの構築や海外展開、輸出促進に向けて後押しができるよう、努力する次第である

タイ

1. はじめに
2. COVID-19 による食市場・物流への影響と今後の見通し
3. COVID-19により顕在化したFVCの課題
4. 現地FVC 再構築に向けた動向
5. ビジネス機会の方向性仮説
6. 日本が貢献できる領域仮説

7. FVC再構築検討のためのTV会議開催・結果報告

1. TV会議概要

2. 現地企業・日本企業へのアンケート・マッチング結果

8. 事業構想案

7. FVC再構築検討のためのTV会議開催・結果報告 7.2 現地企業・日本企業へのアンケート結果

日本企業へのアンケート調査の結果、計11社がタイでのビジネスを検討、又は実施・拡張中と回答
また、現地企業とのマッチングでは、農業生産、食品加工、卸・小売り分野が最も高い関心と言える

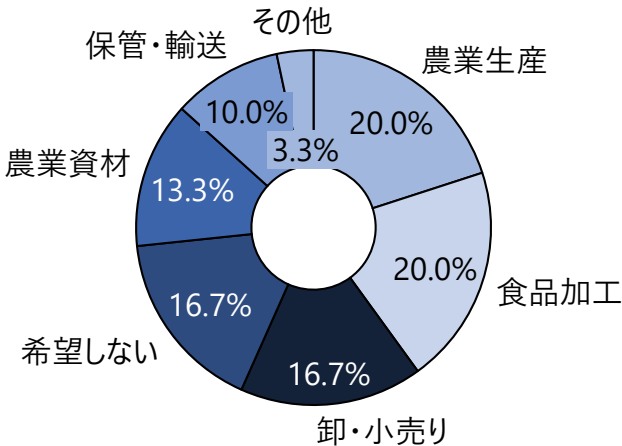
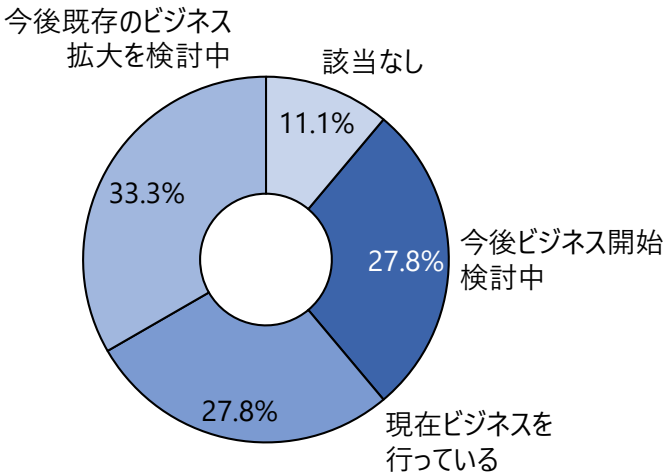
(n=11社)

タイでのビジネス展望の可能性(複数回答)

企業紹介を希望する分野(複数回答)

関心の高いテーマ (複数回答、トップ5)

日本企業



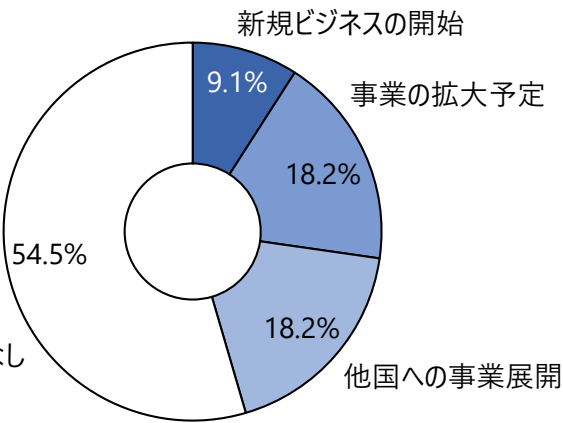
テーマ	票数
マーケティング戦略、販売チャネル戦略	11
現地企業とのパートナーシップの形成・役割分担	10
顧客情報、営業情報管理の実施・強化	5
現地企業の買収	4
生産管理の強化、品質担保、品質向上	3
IoT・AIの活用（スマートファクトリー、スマートリテールなど）	3

7. FVC再構築検討のためのTV会議開催・結果報告 7.2 現地企業・日本企業へのアンケート結果

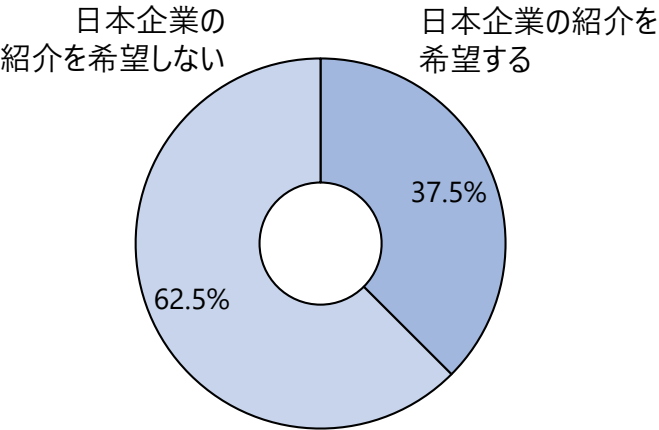
タイ企業へのアンケート調査の結果、事業の拡大・他国への展開が最も高い。また、マッチング内容では、外国企業とのパートナーシップ、生産・品質強化、ガバナンス強化などが最も関心の高いテーマと言える

(n=8社)

ビジネス展望の可能性(複数回答)



企業紹介を希望する分野(複数回答)



関心の高いテーマ (複数回答、トップ5)

テーマ	票数
外国企業とのパートナーシップ	3
生産管理の強化、品質担保、品質向上	3
ガバナンス、コンプライアンス強化	3
コスト・在庫削減、納期短縮など、事業オペレーションの最適化	2
マーケティング戦略、販売チャネル戦略	1
タイの従業員やスーパーバイザーのためのトレーニング	1

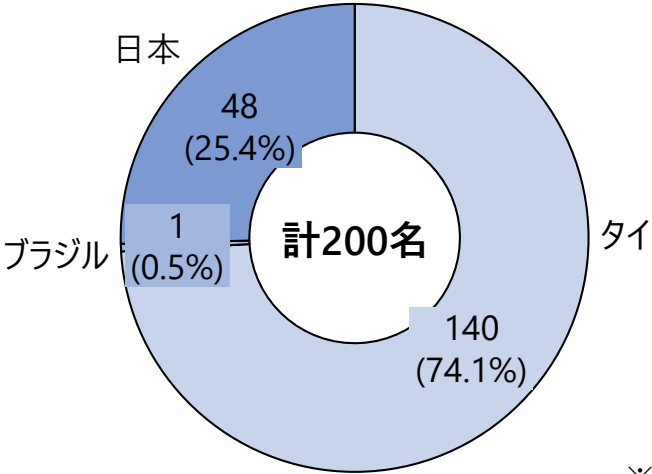
タイ企業

7. FVC再構築検討のためのTV会議開催・結果報告 7.2 現地企業・日本企業へのアンケート結果

参考) 視聴者の参加者実績

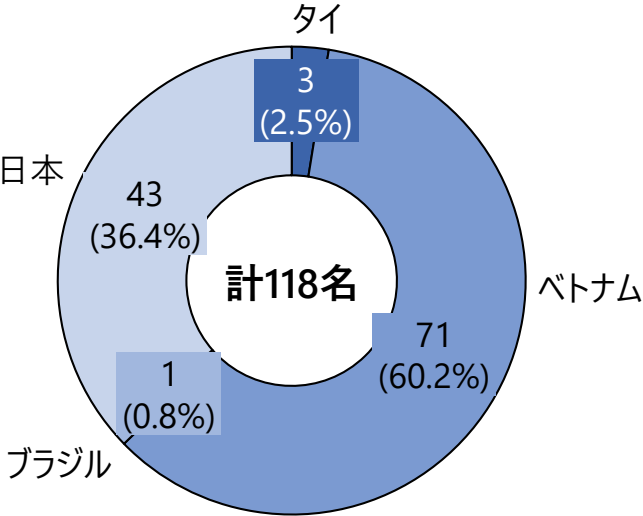
視聴者参加人数

タイ



※スピーカー登録は除く

ベトナム



※スピーカー登録は除く

参考) 事前登録者数

	人数
政府系関係者	53名
現地企業・団体	32名
日本企業	39名
計	124名

	人数
政府系関係者	9名
現地企業・団体	39名
日本企業	56名
計	104名

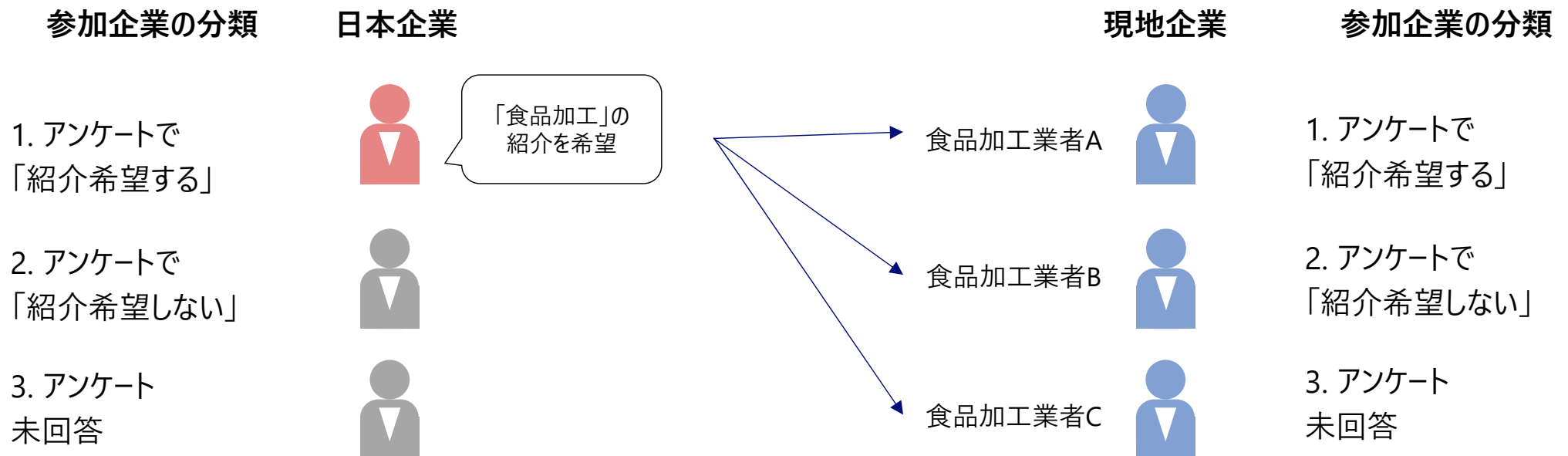
7. FVC再構築検討のためのTV会議開催・結果報告 7.3 マッチング基本方針

マッチングを希望する両国の企業に対して、希望する業種と要件内容から相手国の参加企業の中から条件に合致する企業を抽出。相手国企業から連絡先の開示許可を頂いたのち共有し、個別議論頂く

■ マッチング基本方針

企業が紹介を希望する業種と希望する要件を参照の上、相手国の参加企業の中から条件に合致する企業を探す。条件に合致する企業がいれば、相手国企業の紹介文と連絡先を、紹介を希望する企業へ送る。その後のやり取りは企業同士で行う。

例) 日本企業が現地企業の紹介を希望する場合（現地企業→日本企業の場合も同様）



タイ

1. はじめに
2. COVID-19 による食市場・物流への影響と今後の見通し
3. COVID-19により顕在化したFVCの課題
4. 現地FVC 再構築に向けた動向
5. ビジネス機会の方向性仮説
6. 日本が貢献できる領域仮説
7. FVC再構築検討のためのTV会議開催・結果報告

8. 事業構想案

8. 事業構想案 8.1 アンケート結果から見られる現地企業の課題・ニーズ

アンケート調査から、タイの水産加工企業が日本企業とのビジネスマッチングを希望 インタビューを実施し、以下3つの課題とニーズを把握

現地企業の課題・ニーズ概要

項目	内容
対象企業	水産加工企業
業種	水産加工食品、缶詰製品の製造・販売
現地企業 課題・ニーズ	< 1. 原材料の調達におけるトレーサビリティや環境配慮の徹底 > - ある調達先の漁船では、受刑者を違法に使った漁業活動（船会社、漁業会社によるコスト削減のため）を行っていたケースなどがあり、問題となった。これらの取引先を含めた情報開示や共有化等を徹底していき管理する必要がある - 原材料調達では、持続可能な水産業実現に向けた取り組み ⇒ニーズ：原材料の調達におけるトレーサビリティや環境配慮の徹底の実現 < 2. 食の安全や健康志向を起点とした新たな商品や技術開発 > - 食品関連のスタートアップとも協業しながら健康志向の顧客向けの製品開発を実施中 - 水銀・有害物質・添加物・塩分（ナトリウム）を除去・軽減した製品開発 - ビタミン、Omega3などの検討と美容を考慮した機能性製品開発 - 植物性ツナ缶開発（豆腐ベース） - フレーバー開発 - タイ国内のレストランチェーンとツナ缶を使ったレシピ開発 - 家庭向けレシピ開発 ⇒ニーズ：食の安全や健康志向を起点とした新たな商品や技術開発 < 3. 缶詰の殺菌処理、安心安全加工処理 > - 高熱処理によりツナの食感が落ちフレッシュ感が失われるため、魚の食感を維持しながら長期保存が可能となるような缶詰の高熱処理を目指したい ⇒ニーズ：缶詰の殺菌処理、安心安全加工処理

8. 事業構想案 8.2 食品加工会社を起点とした事業（日タイの協業）構想案

抽出した課題・ニーズを基に、想定される事業構想案を作成。「事業①トレーサビリティ開発」において、日本・タイの共同出資によるSPCを設立し、企業群での技術・サービス開発を行う形態が想定される

事業① トレーサビリティサービス開発

背景

【タイ側のニーズ】

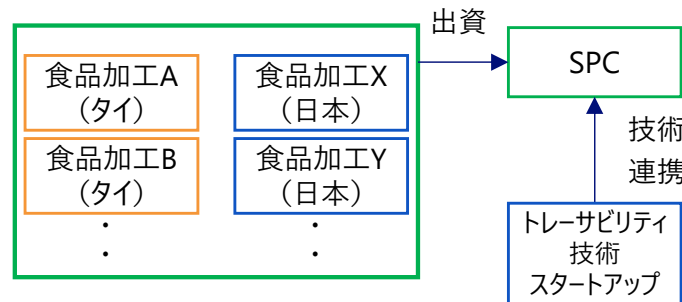
- 原材料の調達におけるトレーサビリティや環境配慮の徹底の実現

【日本側の提供可能技術等】

- トレーサビリティ関連技術
- グローバル調達ネットワークを有する企業群と情報

協業 パターン・ス キーム

【パターンA】企業群での技術・サービス開発



想定課題 と 政策支援

【想定課題】

- ✓ 一企業の努力や情報量では十分に管理しきれない（⇔企業連合での情報の共有化の難しさ）
- ✓ 集約情報やブロックチェーン等の最先端技術等を活用した暗号化が必要

【政策支援】

- ✓ 日・タイの企業連合をまとめるG2Gとしての働きかけ
- ✓ 将来的には日・タイ連合でのサービスの外販化を見据えた出資参画

8. 事業構想案 8.2 食品加工会社を起点とした事業（日タイの協業）構想案

「事業②安全・健康志向起点の新商品開発」において、食の安全・安心技術を保有する日本の食品加工企業・研究機関・スタートアップ等がタイ企業と共同で製品開発を行う形態が想定される

事業② 安全・健康志向起点の新商品開発

背景

【タイ側のニーズ】

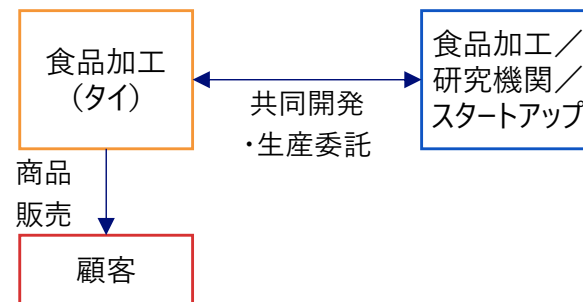
- ・ 食の安全や健康志向を起点とした新たな商品や技術開発

【日本側の提供可能技術等】

- ・ タンパク質の取り扱いやその他食品加工関連の基礎研究

協業 パターン・ス キーム

【パターンB】共同R&D



(タイ)

(日本)

想定課題 と 政策支援

【想定課題】

- ✓ 中小の研究機関や加工メーカ、スタートアップ等は現地企業へのコンタクトが難しい

【政策支援】

- ✓ 上記の仮説を元にしたビジネスマッチングの実施

8. 事業構想案 8.2 食品加工会社を起点とした事業（日タイの協業）構想案

「事業③安全加工技術の提供」において、日本の食品加工機器メーカーによる
安心安全の加工処理技術などのノウハウ提供や加工処理機械などの販売が想定される

事業③ 安全加工技術の提供

背景

【タイ側のニーズ】

- 缶詰の殺菌処理、安心安全加工処理

【日本側の提供可能技術等】

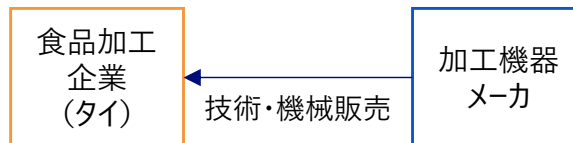
- 低温殺菌関連技術・機器

協業 パターン・ス キーム

【パターンC】加工技術の販売

(タイ)

(日本)



想定課題 と 政策支援

【想定課題】

- ✓ 中小の研究機関や加工メーカ、スタートアップ等は現地企業へのコンタクトが難しい

【政策支援】

- ✓ 上記の仮説を元にしたビジネスマッチングの実施

The text is framed by two decorative swooshes. A blue swoosh is positioned below the text, starting under 'Share' and ending under 'Values!'. A multi-colored swoosh (blue, purple, red, orange) is positioned above the text, starting under 'Share' and ending under 'Values!'.

Share the Next Values!